



開二小だより

Vol. 164

第2号

平成 28 年 5 月 2 日 発行

練馬区立開進第二小学校

校長 長田 信彦

www.kaishin2-e.merima.tky.ed.jp

～「広く思いやる子」を育てる開二小！～

タイトルにある「広く思いやる子」これは、本校の三つの教育目標のうちの一つです。「思いやり」の心を子供たちの中にしっかりと育んでいくこと。とても大切なことと捉え、指導・育成に取り組んでいきます。

今年度、本校教職員が重点的に取り組む研究は、道徳教育です。子供たちに育む道徳心は、授業としての道徳の時間に止まることなく、学校教育や学校生活すべての活動を通して育まれるものであります。さらには、家庭での生活や教育の中でも、また、地域社会の様々な活動や行事の中でもよりよく育てていくことが求められます。つまり、子供たちの日常すべてが道徳教育の場となります。

道徳の時間が、「特別の教科 道徳」となり、教科として指導することになります。その中でこの「思いやり」は、「親切」と共に、次のような姿を求めていきます。

(低学年) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

(中学年) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

(高学年) 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。

さらに、(中学生) の姿は………思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。………となります。

3月の卒業式で、次のような話を式辞の中で子供たちに伝えました。「考える道徳」「議論する道徳」の一つとして、子供たちと話をしてみて下さい。

「(前略) 皆さんの卒業にあたり、皆さんと一緒に、命の尊さについて考えてみることにしましょう。国語の授業で、谷川俊太郎さんの「生きる」を勉強したと思います。「生きているということ／いま生きているということ」で始まる詩です。そこでは、命のあるものの姿として、命の尊さ、重さ、そして大切さを学んだことでしょう。「人は愛するということ／あなたの手のぬくみ／いのちということ」で終わる詩でした。

今日は、私たちと同じ、哺乳類の仲間、鯨のお話をします。どれくらい前のことだったでしょうか。日本

のどこかの砂浜に、大きな鯨が打ち上げられてしまったという出来事がありました。もちろん、打ち上げられた鯨は、自分自身の力では海に戻ることはできません。次第に弱っていく鯨。すると、どこからともなく集まってくる大勢の人々。その手に持ったバケツで、一生懸命に海水を鯨にかけています。人々は考えました。どうしたらこの鯨を海に戻すことが出来るのかを。水族館の方とも相談しました。各方面の水産大学の先生や職員、地域の行政の方々とも相談をしました。地元の漁師の方々とも相談しました。そして、集まった人々の心は一つになり、救出作戦が開始されたのです。海岸では、引き続き海水を掛け続ける班。全身を使い、鯨を海の方へと一一杯に押す班。鯨の体の下の砂を掻き出す人々。また、そのかけ声をかける人々。沖には、何隻かの漁船が到着していました。その船から伸びる長いロープを鯨の体にしっかりと固定していく人達。全く動かなくなってしまった鯨。すると、どうでしょう。漁船がロープで引っ張り、人々が力を込めて押すと、少しずつ鯨が海の中へ入っていったそうです。こうして鯨は自らの命をつなぎ止め、三角の尾ひれを振りながら、ゆっくりと海へ帰っていました。鯨の救出作戦は成功したのです。誰もが安堵したことでしょう。

でも、ここで皆さん一人一人に考えてもらいたいことがあるのです。それは、この救出作戦にも幾らかのお金が掛かっていると言うことです。どれくらい掛かったのかは分かりませんが、もし、その金額を、遠い国に住む、今にも命を失ってしまいそうな子どもたちのために使ったらどうでしょう。ユニセフの学習で学んだように、きっと大勢の子ども達の命を救うことになったのではないかでしょうか。皆さんはどうのように考えますか。鯨を助けるべきなのか、子ども達の命を救うべきなのか。

私にも、その答えは出せません。なぜなら、どちらの考えもとても尊いからです。答えは、いつも一つとは限りません。大切なことは、よりよい考え方や行動を追求していくことです。卒業生の皆さん。自分の行いや未来のことについて、絶えずよりよいものを求め追求していく人生を送って下さい。今日の卒業式の皆さんに立派な態度もその一つだと思います。本当に、卒業おめでとうございます。中学生になっても、今の姿勢に、ますます磨きをかけて下さい。明るい未来は、あなたたちが力を合わせて築いていくのですから。(後略)

お知らせ

☆ふれあいタイムについて☆

特別活動部 春日 真悠

開二小には、1年生から6年生のメンバーで構成する「ふれあい班」という班があります。異学年の児童が15の班に分かれて、朝の「ふれあいタイム」に楽しく過ごします。6年生のふれあいリーダーを中心に遊びを決めて、班ごとに鬼ごっこやドッジボール、ドロケイ、ハンカチ落としなどいろいろな遊びをする姿が見られます。異年齢の子供たちが関わり合うことで、低学年は高学年から遊びを教わり、高学年はリーダー性や、低学年のことを見いやる気持ちを育てていきます。



離任された先生のあいさつ

☆離任の挨拶☆

石黒重信

開進第二小学校には6年間、元気な子供たちの指導に当たることができました。

開二小学区は交通安全運動や安全パトロール、にこにこひろばの活動、そして行事の協力と、保護者の皆様方をはじめ、自治会の方々が温かく子供たちを見守る、支える学校、地域だと思っています。今まで本当にありがとうございました。お世話になりました。

今後は多摩川沿いから練馬・桜谷の空に向かって、子供たちが自信をもって学校生活を送るように祈っています。

☆「ありがとうございました」☆

関 裕美子

開進第二小学校に着任して3年間。毎日楽しく子ども達とともに学習したり、遊んだりしてきました。たくさんの素敵なお出をありがとうございました。運動会や学芸会などの行事をはじめ、日々の学習も、何事にも意欲的で興味深く体いっぱいいつかって活動する子ども達の姿が、大変印象に残っています。保護者の皆様のご理解とご協力があったればこそと、心より感謝しております。本当にありがとうございました。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

☆離任の挨拶☆

中島 嘉子

開進第二小学校では、6年間お世話になりました。心を一つに、声を合わせて歌ったり、美しい音色で演奏する子ども達の姿は、とても素晴らしいでした。温かく支えてくださった保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。

☆ありがとうございました☆

大和 瞳美

♪明治のはじめ、武蔵野の・・♪ゆったりと、そしてメロディーラインの美しい開二小の校歌が大好きでした。元気な子供たちと作り上げた運動会、学芸会といった行事がとても楽しく、心に残っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、様々な場面で支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。6年間、本当にありがとうございました。

☆離任の挨拶☆

小松 愛

初めて開二小に来た日のことが昨日のように感じるほど、あっという間の7年間でした。出会った子どもたちと過ごした日々は、毎日が楽しく新鮮で、多くのことを学ばせていただきました。子どもたちの笑顔と元気な姿に、いつも励されました。保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

新しい勤務先でも、開二小で学んだことを生かして頑張っていきます。お世話になりました。

☆離任の挨拶☆

宮川 薫

多くの子どもたちと出会い、いろいろな体験を共にさせてもらった6年間でした。明るく元気いっぱいの子どもたち、保護者や地域の皆様の温かいご支援に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。教員としての第一歩を踏み出すことのできた開二小での思い出は、私にとってかけがえのない宝物となりました。開二小で学んだことを糧に、新天地でも頑張りたいと思います。今まで、ありがとうございました。

5月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 朝会 ③④遠足 清掃なし ①②⑤⑥地域巡り	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 特別時程 ⑤⑥遠足 清掃なし ①～④地域巡り	7
8	9 朝会 腎臓検査回収予備日 個人面談希望〆切 クラブ	10 ふれあい ⑥聴力再検査 ①②消防写生会 委員会	11 運動 ⑤聴力再検査 子ども会	12 読書 ①②③歯科検診 清掃なし 代表委員会	13 開校記念日	14
15	16 朝会 腎臓二次検査 学校公開日 クラブ	17 クラス ④聴力再検査 ⑦遠足	18 運動 ③聴力再検査 避難訓練 セーフティ教室	19 読書 ④内科検診 ⑤聴力再検査 美化の日 ふれあいの日	20 音楽 ①②③④眼科検診 PTA 総会	21
22	23 朝会 ②聴力再検査 クラブ	24 特別時程 ①②遠足 ③～⑥個人面談	25 特別時程 ⑤個人面談	26 特別時程 ①～⑥個人面談	27 特別時程 ④⑤⑥眼科検診 ①②③個人面談 ④⑤⑥午後授業	28
29	30 朝会 クラブ	31 特別時程 ①心臓検診 ⑤個人面談	⑥は全学年を表します。 ①②③④⑤⑥はそれぞれ学年を表します。 ⑦はあおぎり学級を表します。			

えがあでポン！

☆2年生より☆

4月22日（金）に1年生を迎える会がありました。ちょっとお兄さん、お姉さんになった2年生は自分たちが1年生のときに育てた朝顔の種を、「大切に育ててね」とプレゼントしました。種を手作りの袋に入れたペンダントにして、1年生に渡しに行きました。2年生はこれから学校探検や低学年の遠足でも1年生と一緒に活動していきます。1年生に優しくすることで、2年生としての自覚をもっていってほしいと思います。

